

平成 28 年 11 月 8 日 (水)

## 第 3 回 図書館ミニ講演会



岩波書店編集局渉外著作権課課長の伊藤利花さんをお招きして「翻訳書ができるまで」というテーマでお話をいただきました。岩波書店の、非売品の絵葉書という素敵なプレゼントもあり、大満足の講演会でした。

前半は、出版社の渉外の仕事について。後半は、著作権についてと英語と仲良くなるための方法についてということで、伊藤さんが好きな歌の歌詞を、参加者全員で翻訳してみるワークショップで盛り上がりました。



海外のブックフェアやカタログなどで出版したい作品を見つけるところから、各方面への交渉を行い、契約を結ぶところまでが伊藤さんの仕事だそうです。その間には、他の出版社との競争もあり、実際に競合した某有名児童文学のタイトルが出てきたときには、参加者一同驚きました。

「最初から、出版や渉外に関する仕事につきたかったのですか?」という質問には、もともとは違う会社に勤めていて「“べっぴんさん”が私を留学におくりこんでくれました」、留学をはさんで現職に就くことになったのだと答えてくださいました。また、小学生の頃の夢が「ほんやくかになりたい」だったので（「翻訳」が書けず「本訳」になっていたそうですが）、今は翻訳の近くで仕事がやれていて楽しいとのことでした。

講演終了後も、たくさんの参加者が伊藤さんを取り巻いて個人的な質問や相談をしていたため、学校を出るぎりぎりの時間になってしまいました。本当にありがとうございました。

## 【参加者からの質問&amp;メッセージより】

- ・出版に興味があったので、とても楽しかったです。
- ・すてきな時間になりました。
- ・文化の扉がひとつ開けたと思います。海外に行ってみたくなったし、海外文学にも親しみがもてました。
- ・英語が苦手なので、一日中英語なのは大変だなあと思いました。ですが海外の人とお友達になれるのはとても楽しそうだなと思いました。
- ・『モモ』が家にあるのでぜひ読みたいです。伊藤さんのように夢を実現できる人になりたいです。